

中高共通美術

1 次の文章は、中学校学習指導要領（平成29年3月告示）の「第6節 美術 第1 目標」から抜粋したものである。空欄にあてはまる語句を下記の選択肢①～④の中から一つ選びなさい。

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、 資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、 を培う。

- ① 創造的に考えを巡らせる ② 生活や社会の中の美術や文化と豊かに関わる
③ 新しい意味や価値をつくりだす ④ 広い視野に立って見方や感じ方を深められる

- ① よさや美しさなどを感じ取り ② 自分の見方や感じ方に基づいて
③ 表現方法を創意工夫し ④ 感性や想像力を働かせ

- ① 技法を生み出し豊かに発想し構想を練ったり
② 主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり
③ 新たな見方を生み出し豊かに発想し構想を練ったり
④ よさや美しさを生み出し豊かに発想し構想を練ったり

- ① 豊かな情操 ② 自らの表現を追求していく経験
③ 美術を愛好する知識 ④ 想像力を働かせ創意工夫する技能

2 中学校学習指導要領（平成29年3月告示）「第6節 美術」に関する以下の各小問について、適切な語句を下記の選択肢①～④の中から一つ選びなさい。

1 各学年の「A 表現」には、「表現の活動を通して」「育成すること」ことが大きく二つに分けて示されているが、その二つの資質・能力は何か。

- ① 「態度に関する資質・能力」と「活用に関する資質・能力」
② 「見方・考え方を働かせる資質・能力」と「美術文化と豊かに関わる資質・能力」
③ 「よさや美しさを感じ取る資質・能力」と「心豊かに表現する資質・能力」
④ 「発想や構想に関する資質・能力」と「技能に関する資質・能力」

2 第一学年の「B 鑑賞」には、大きく二つの鑑賞活動を通して指導することが示されているが、「美術作品などの見方や感じ方を広げる活動」ともう一つは何か。

- 6
- ① 表現の意図と工夫などについて考えたりするなどの見方や感じ方
 - ② 対象や事象を捉える造形的な見方や感じ方を広げる活動
 - ③ 美術を愛好する心情、豊かな感性についての見方や感じ方を広げる活動
 - ④ 生活の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を広げる活動

3 第一学年の「3 内容の取り扱い」に、「言語活動の充実を図ること」とあるが、「言葉で考えを整理したりすること」や「アイデアスケッチで構想を練ったり」の他にどのような事例が示されているか。

- 7
- ① 美術の専門的な用語を用いるなどして
 - ② 授業の振り返りを記述するなどして
 - ③ 作品などについて説明し合うなどして
 - ④ 制作の順序を計画的に考えるなどして

4 第二学年及び第三学年の「A 表現」には、「技能に関する資質・能力」について、身に付けることができるよう指導することとして、「(ア) 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。」と何が示されているか。

- 8
- ① (イ) 材料や用具、表現方法の特性など美術の専門的な手法に触れること。
 - ② (イ) 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表すこと。
 - ③ (イ) 材料や用具、表現方法の特性により、技能が高まったり新たな技能が発揮されたりすること。
 - ④ (イ) 材料や用具、表現方法の特性を生かし、技術的な創意工夫を発見していくこと。

3 次の文章は、新高等学校学習指導要領（平成30年改訂）の「第7節 芸術 第4 美術I」からの抜粋である。空欄にあてはまる語句を下記の選択肢①～④の中から一つ選びなさい。

第4 美術I

1 目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的な、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、や社会を創造していく態度を養う。

2 内容

A 表現

表現に関する資質・能力を次のとおり育成する。

(1) 絵画・彫刻

絵画・彫刻に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想

(ア) 自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから こと。

(イ) 表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練ること。

イ 発想や構想をしたことを基に、創造的に表す技能

(ア) 意図に応じて材料や用具の特性を生かすこと。

(イ) 表現方法を創意工夫し、 創造的に表すこと。

(2) デザイン

デザインに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 目的や機能などを考えた発想や構想

(ア) 目的や条件、美しさなどを考え、主題を生成すること。

(イ) デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練ること。

イ 発想や構想をしたことを基に、創造的に表す技能

(ア) 意図に応じて材料や用具の特性を生かすこと。

(イ) 表現方法を創意工夫し、 創造的に表すこと。

(3) 映像メディア表現

映像メディア表現に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 映像メディアの特性を踏まえた発想や構想

(ア) 感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に、映像メディアの特性を生かして主題を生成すること。

(イ) 色光や視点、動きなどの映像表現の の働きについて考え、創造的な表現の構想を練ること。

イ 発想や構想をしたことを基に、創造的に表す技能

(ア) 意図に応じて映像メディア機器等の用具の特性を生かすこと。

(イ) 表現方法を創意工夫し、表現の意図を効果的に表すこと。

<input type="text" value="9"/>	① 表現活動	② 美的体験	③ 創造的行為	④ 創意や工夫
<input type="text" value="10"/>	① 美的世界観	② よさや美しさ	③ 技法の工夫	④ 多様な見方
<input type="text" value="11"/>	① 美の追求	② 心豊かな生活	③ 美しい世界	④ 柔軟な知性
<input type="text" value="12"/>	① 主題を生成する	② 構想を練る	③ 題材を設定する	④ 見通しを持つ
<input type="text" value="13"/>	① 主題を追求して	② 創造性を発揮して	③ 意図的に構想して	④ 計画的に
<input type="text" value="14"/>	① 目的や計画を基に	② 試行錯誤をして	③ 美の調和を図り	④ 機能性を高め
<input type="text" value="15"/>	① 演出の効果	② 編集の効果	③ 複合的な要素	④ 視覚的な要素

4 次の文は色の対比に関するものである。□□□□に入れるのに最も適当な組み合わせを①から④までの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

色の対比とは、二つの色もしくは複数の色がそれぞれに影響し合うことで、色が違って見える現象のことを言います。周りにある色が緑の場合その補色は赤なので、中にある色の赤みが強く感じます。周りの色が赤の場合、その補色は緑なので、中にある色が同じ色でもその青みが強く感じます。このように □ A □ では、周りの色に影響されて色味がずれて見えます。

例えば、同じ黄色の周りが、一つは明るいグレー、一つは暗いグレーの場合、暗いグレーの方が、中の黄色は明るく見えます。このように □ B □ では、周りの色の明るさに影響されて色が違って見えます。

同様に、全く同じ色の周りが、一つは鮮やかな色、一つはくすんだ色の場合、くすんだ色の方が、中の色は鮮やかに見えます。このように □ C □ では、周りの色の鮮やかさに影響されて色が違って見えます。

□ D □ は、隣同士の色がそれぞれを引き立て、より鮮やかに見える現象です。ただし、極端に明るい色同士の組み合わせでは、見づらく目に優しくない配色になりがちなので注意が必要です。

- 16
- ① A 色相対比 B 明度対比 C 補色対比 D 彩度対比
 - ② A 色相対比 B 明度対比 C 彩度対比 D 補色対比
 - ③ A 補色対比 B 明度対比 C 彩度対比 D 色相対比
 - ④ A 補色対比 B 色相対比 C 彩度対比 D 明度対比

5 各文章の□□□□に入れるのに最も適当な組み合わせを、下記の選択肢①～④の中から一つ選び記号で答えよ。

日本画で使われる代表的な天然色材には以下のようなものがある。青色で代表的なものは、植物染料である藍や全ての顔料の中で最も貴重・高価である □ A □、赤系では、酸化鉄を主成分とする天然土の朱土や硫化水素由来の □ B □、黄色系ではどの土地でも手に入りやすい黄土がよく使われ、緑色では唯一銅の化合物である □ C □ が多用された。白を代表する色材は貝殻を風化させ粉末化した □ D □ である。

- 17
- ① A 碧岩 B 臙脂 C 緑青 D 雲母
 - ② A 群青 B 丹 C 碧岩 D 鉛白
 - ③ A 碧岩 B 鎌倉朱 C 黄緑 D 白土
 - ④ A 群青 B 辰砂 C 緑青 D 胡粉

油彩画の媒剤の基本となるのは、空気中の酸素と反応して固化・皮膜化する □ A □ で、その代表的なものとしては、亜麻の種子から作られる □ B □ が挙げられ、他にもケシの種子由来の □ C □ もよく使われる。また溶剤・希釈剤としては、針葉樹樹脂由来の □ D □ などの揮発性油が使われることが多い。

- 18
- ① A 乾性油 B リンシードオイル C ポピーオイル D テレピンオイル
 - ② A 樹脂 B ポピーオイル C ナッツオイル D ダマール
 - ③ A 合成樹脂 B サフラーオイル C ポピーオイル D リンシードオイル
 - ④ A タンパク質 B ナッツオイル C サフラーオイル D ペトロロール

西欧では、油彩画が発展する以前に絵画の媒剤としてもっともよく使われたのは **A** で、これを用いて描かれた絵画を **B** と呼んだ。この溶剤には **C** という異なる性質をもつ液体が混ざっており、このような溶液のことを、**D** と呼ぶ。

19

- | | | | |
|----------|-----------|------------|----------|
| ① A 膠 | B フレスコ画 | C 酸性とアルカリ性 | D エマルジョン |
| ② A 卵 | B テンペラ画 | C 水性と油性 | D 乳濁液 |
| ③ A 蜜蝋 | B 密陀絵 | C 酸性とアルカリ性 | D 分酸液 |
| ④ A カゼイン | B ミニアチュール | C 水性と油性 | D 懸濁液 |

石崗に使用する鋼鉄のノミの刃先は硬度を **A** ために **B** をして使うが、現代の石材加工用の道具工具類は、この鋼鉄よりも硬度の **C** **D** チップが刃先に埋め込まれているものが主流である。

20

- | | | | |
|---------|--------|------|----------|
| ① A 高める | B 焼き戻し | C 低い | D 超硬合金 |
| ② A 低める | B 焼き入れ | C 高い | D ダイヤモンド |
| ③ A 高める | B 焼き入れ | C 高い | D 超硬合金 |
| ④ A 低める | B 焼き戻し | C 低い | D ダイヤモンド |

6 次の文は、表現技法について述べたものである。当てはまる語句を①から④までの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

(1) 画面に絵具を2層以上に塗り重ね、ニードルなどを使い下層の色を引っかきだす技法。

21

- ① ポワリング ② アッサンブラージュ ③ スパッタリング ④ スクラッチング

(2) 網やブラシなどを使って、画面に絵具を飛ばす手法。

22

- ① スクラッチング ② スパッタリング ③ ポワリング ④ アッサンブラージュ

(3) 既存の写真の切り貼りや多重露光などの方法を用いて、複数の異なるイメージを一つの画面に再構成する技法。

23

- ① フォトモンタージュ ② アッサンブラージュ ③ ポワリング ④ スクラッチング

(4) 既製品や自然物など様々なものや素材を「寄せ集めて」一つの立体作品にすること。

24

- ① ポワリング ② フォトモンタージュ ③ アッサンブラージュ ④ スパッタリング

(5) 水平に置いた画面に、絵具を垂らす、撒く、注ぐことによって描く技法。

25

- ① スパッタリング ② アッサンブラージュ ③ ポワリング ④ スクラッチング

9 次の空欄に当てはまる適切な組みあわせを①から④までの中から一つ選び、記号で答えよ。

「民芸」は、民衆的工芸といった意味で、大正15年に「日本民芸美術館設立趣意書」を発表しこの運動を提唱した **A** による造語である。彼は『工芸の道』を著し、それまで美の対象としてあまり顧みられることのなかった無名の工人が無心に作る民衆のための **B** の中にこそ、「健康な美」があると説いた。**C** 以降の機械による大量生産の工業製品を排し、中世ギルドの手仕事による美術工芸品を生活に取り入れる「アーツ・アンド・クラフツ運動」を主導した **D** にも、少なからぬ影響を受けている。

30

- | | | | |
|------------|----------|----------|---------------|
| ① A 北大路魯山人 | B 工業製品 | C 市民革命 | D パウル・クレー |
| ② A 柳宗悦 | B 日常雑器 | C 産業革命 | D ウイリアム・モリス |
| ③ A 柳田國男 | B 伝統的工芸品 | C フランス革命 | D エミール・ガレ |
| ④ A 鎌倉芳太郎 | B 茶道具 | C 辛亥革命 | D ヴァルター・グロピウス |

10 次の文は西洋美術に関するものである。各問について最も適当なものを①から④までの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

- (1) エジプト新王国時代第18王朝のファラオの正妃をモデルとした彩色石灰岩彫刻。右眼は水晶と黒色の練り物で象眼しながら左眼は象眼されないままであることなどから、もともと彫刻師の手本として作られたものと推定される。大胆な構成と繊細かつ入念な仕上げは、後期のアマルナ彫刻の特徴である調和のとれた写実主義を代表するものと言えよう。この彫刻の名称を選びなさい。

31

- ① ネフェルティティ胸像
- ② イメレットネベスの小像
- ③ アメンイルディアスの像
- ④ ラーネフェル像

- (2) ローマで出土した大理石の三面浮き彫りで、主要面はアフロディーテの誕生が表されているのではないかとされている。優しく繊細で、しかも幾らかの硬さを感じさせる作風は、前460年頃、南イタリアでつくられたことを示す。ギリシア・クラシック期のこの彫刻の名称を選びなさい。

32

- ① ミロのヴィーナス
- ② パルテノン東破風の彫刻
- ③ ルドヴィージの玉座
- ④ アクロポリスのコレー

- (3) 紀元前27年にアグリッパが創建したが火災に遭い、120～125年頃ハドリアヌス帝によって再建された。この神殿は巨大なドームを頂く円堂と正面8柱の玄関柱廊が残っている。円形本堂は直径43.4mの球体を包むかたちの単一広大な空間構成をとり、したがって床から大円蓋までの高さと同様に床の直径とが相等しい。円蓋の中央には径7.5mの採光用の円窓が穿たれている。古代ローマ最大の円蓋建築であるとともに、ローマ建築の精髓を示す傑作である。この建築の名称を選びなさい。

33

- ① コロッセオ
- ② パンテオン
- ③ バールベック
- ④ ヴィッラ・アドリアーナ

- (4) レオナルド・ダ・ヴィンチの作品が制作年順にそろっている組み合わせを選びなさい。

34

- ① 岩窟の聖母 → ブノワの聖母 → 最後の晩餐 → モナ・リザ
- ② ブノワの聖母 → 岩窟の聖母 → モナ・リザ → 最後の晩餐
- ③ 最後の晩餐 → 岩窟の聖母 → ブノワの聖母 → モナ・リザ
- ④ ブノワの聖母 → 岩窟の聖母 → 最後の晩餐 → モナ・リザ

- (5) フェルメールの作品のサイズが小さい順にそろっている組み合わせを選びなさい。

35

- ① 赤い帽子の娘 → レースを編む女 → 絵画芸術 → 真珠の首飾りの女
- ② レースを編む女 → 赤い帽子の娘 → 真珠の首飾りの女 → 絵画芸術
- ③ 赤い帽子の娘 → レースを編む女 → 真珠の首飾りの女 → 絵画芸術
- ④ レースを編む女 → 赤い帽子の娘 → 絵画芸術 → 真珠の首飾りの女

- (6) バロック期のスペインの宮廷画家。彼の作品では、画面に近づいて見ると、素早い筆の運びで荒々しく描かれたタッチにしか見えないものが、少し離れたところから眺めると、写実的な衣服のひだに見える。このような、近代の印象派にも通じる油彩画の卓越した技法が、マネらの近代画家が高く評価した所以である。この画家の名称を選びなさい。

36

- ① ムリーリョ
- ② ベラスケス
- ③ ゴヤ
- ④ スルバラン

(7) 19 世紀のフランスの画家。彼の絵画には、画家自身は習作と考えていたが、印象派を直接予告する明確な造形性を持つ作品と、夕暮れや銀灰色の霧のやや甘くて情緒的な風景画の二系統が認められる。前者には、「ナルニの橋」習作や「真珠の女」「青衣の女」などの大部分の人物画、後者には「モルトフォンテーヌの回想」などが挙げられる。この画家の名称を選びなさい。

37

- ① ギュスターヴ・クールベ
- ② カミーユ・コロー
- ③ テオドール・ルソー
- ④ ジャン＝フランソワ・ミレー

(8) ボルドー生まれの画家、版画家。1860 年生物学者アルマン・クラヴォーと知り合い、顕微鏡下の世界に触れて、「眼に見えない、形而上的な、超自然的なもの」に誘われた。銅版画家ロドルフ・ブレダンから銅版画を、アンリ・フォンタン＝ラトゥールに石版画を学んだ。はじめ色彩を避けて長いあいだ木炭画、ついで版画により白と黒の世界に沈潜した。1890 年頃から油彩画やパステル画を始めて明るい色彩を取り入れ、晩年の、人物や花や神話的世界を扱った作品において、ときに神秘的な美しさをたたえた華麗な色彩を花咲かせた。この画家の名称を選びなさい。

38

- ① アルノルト・ベックリン
- ② フェルナン・クノップフ
- ③ ギュスターヴ・モロー
- ④ オディロン・ルドン

11 次の文は日本美術に関するものである。各問について最も適当なものを①から④までの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

(1) 次の文は、仏像の製作方法とその順序について書いたものである。この技法名として正しいものを選びなさい。

心木に荒縄などを巻き付け、その上に荒土の粘土を盛り付け形を作る。表面に仕上土として白土をかぶせて細部を仕上げ、最後に彩色する。代表作に東大寺法華堂執金剛神像などがある。

39

- ① 木造
- ② 石造
- ③ 乾漆造
- ④ 塑像

(2) 飛鳥時代の代表的な仏像ではないものを選びなさい。

40

- ① 法隆寺金堂釈迦三尊像
- ② 東大寺金剛力士像
- ③ 中宮寺半跏思惟像
- ④ 法隆寺百済観音像

(3) 8 世紀中ごろに建造された総檜、校倉造りの建物で、平城京に天平文化を花開かせた聖武天皇ゆかりの品々などが収められて

いる建築物の名称を選びなさい。

41

- ① 正倉院正倉
- ② 法華堂
- ③ 三十三間堂
- ④ 平等院

(4) 平安時代後期から盛んに制作された絵巻物の中でも、「源氏物語絵巻」など耽美的・貴族的な美意識を象徴する作品に対し、子どものけんかの場面に「異時同図法」を用い、庶民の姿を生き生きと描いた説話絵巻の傑作として知られる。

42 ① 信貴山縁起絵巻 ② 地獄草紙 ③ 伴大納言絵巻 ④ 一遍上人絵伝

(5) 室町時代、将軍家の御用絵師を務めたことに始まり、戦国時代を経て江戸時代まで、時の政権と密接な結びつき、世襲制により画壇の中心としての権威を維持しつづけた。

43 ① 土佐派 ② 長谷川派 ③ 琳派 ④ 狩野派

(6) 1898年、東京美術学校を辞職した岡倉天心の主導により設立された日本美術院の中心メンバーの一人で、「朦朧体」に象徴される日本画の革新を行なった。

44 ① 横山大観 ② 河鍋晁斎 ③ 村上華岳 ④ 速水御舟

(7) 明治末から大正にかけ、後期印象派などヨーロッパの美術動向を積極的に紹介した「白樺」などの影響を受け、自らは高村光太郎らと「ヒュウザン会」を結成。後にはデューラーなどを参照した独特の写実主義の画風を生み出した。

45 ① 萬鉄五郎 ② 青木茂 ③ 岸田劉生 ④ 村山槐多

12 次の各文は、映像メディア表現において使用される「解像度」や「ファール形式」について述べたものである。[ア]から[ウ]に入る用語の適切な組み合わせを①から④までの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

(1) [ア]とは、ビットマップ画像がどのくらいの密度で構成されているかを表す数字のことである。

1インチの中に、いくつの[イ]が並んでいるのかを表しており、1インチあたりの単位は[ウ]である。

46 ① ア 画像解像度 イ ドット ウ dpi
② ア 画面解像度 イ 単位 ウ dpi
③ ア 画面解像度 イ ドット ウ ppi
④ ア 画像解像度 イ 単位 ウ ppi

(2) カラー液晶で使われている[ア]カラーモデルでは、[イ]はワンセットになってフルカラーの画素を形成している。[ウ]の明暗の組み合わせで色を表現します。

47 ① ア CMYK イ ドット ウ 4色
② ア RGB イ ピクセル ウ 3色
③ ア CMYK イ ピクセル ウ 3色
④ ア RGB イ ドット ウ 4色

(3) 一般的な印刷用の適正な解像度は100%の大きさに [ア] となります。適切な解像度の画像を縮小、拡大することでも解像度は

変動します。拡大をすると解像度は [イ]、縮小すると解像度は [ウ] ます。

- | | | | |
|----|------------------|-------|-------|
| 48 | ① ア 350 ～ 400dpi | イ 上がり | ウ 下がり |
| | ② ア 72 ～ 140dpi | イ 上がり | ウ 下がり |
| | ③ ア 72 ～ 140dpi | イ 下がり | ウ 上がり |
| | ④ ア 350 ～ 400dpi | イ 下がり | ウ 上がり |

(4) [ア] は、主にコンピュータディスプレイや液晶ディスプレイ、デジタルカメラなどで画像再現に使われている、原色を混ぜて幅広い色を再現する加法混色の一種である。印刷物で見る色の三原色は [イ] と呼ばれ、3色は混ぜるほど暗い色になる。

そのため、[ウ]とも呼ばれる。

- | | | | |
|----|----------|--------|--------|
| 49 | ① ア RGB | イ CMYK | ウ 減法混合 |
| | ② ア CMYK | イ RGB | ウ 減法混合 |
| | ③ ア CMYK | イ RGB | ウ 加法混合 |
| | ④ ア RGB | イ CMYK | ウ 加法混合 |

(5) 印刷物を [ア] データで作るメリットは、画像の劣化を気にせずに拡大や縮小をすることができるという点です。写真などのように色や陰影、濃淡など複雑な描写をする場合には、[イ] データが望ましい。但し、[ウ] が大きければ大きいほどデータの

の

容量が増える。

- | | | | |
|----|------------|----------|-------|
| 50 | ① ア ベクター | イ ビットマップ | ウ 写真 |
| | ② ア ビットマップ | イ ベクター | ウ 解像度 |
| | ③ ア ベクター | イ ビットマップ | ウ 解像度 |
| | ④ ア ビットマップ | イ ベクター | ウ 写真 |

13 次の各文は日本の陶磁器について述べたものである。文中の 51、52、53 に最も適当なものを、下記の選

世界で最も古いやきものに属する 51 は、1万2千年前～1万6千年前に始まったといわれており、形の表面に施された文様から名付けられた。52 と呼ばれる紐状の粘土を積み重ねていく技術によって成形され、深鉢形がよく知られている。

択肢①～④の中から一つ選び番号で答えなさい。

- | | | | | |
|----|--------|--------|--------|-------|
| 51 | ① 縄文土器 | ② 弥生土器 | ③ 三彩陶器 | ④ 楽焼 |
| 52 | ① 手びねり | ② ロクロ | ③ 板づくり | ④ 鑄込み |

江戸時代に入ると、17世紀初頭に佐賀藩において陶石が発見され、日本で初めての [53] 製品となる有田焼の生産が始まった。当時人気のあった景德鎮の製品を手本としながら、「染付」「柿右衛門」「金襴手」「鍋島」といった様式が生まれ、その後も独自の発展を遂げながら今日に至っている。

[53]

① 土器

② 陶器

③ 炆器

④ 磁器

14 次の各文は、沖縄の工芸品について述べたものである。空欄に当てはまる最も適当なものを①から④までの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

[54] 布は、糸 [54] の繊維を糸にして織り上げる手織物である。高温多湿な沖縄の気候風土に適した [54] 布は、琉球王国時代には、北は奄美から西の与那国島、南は波照間島まで広く織られ、士族の官服・朝衣から庶民の労働着まで身の別なく広く着用されていた。現在は「 [55] の [54] 布」が国の重要無形文化財に指定されている。

[54]

① 葛

② 芭蕉

③ シナ

④ 苧麻

[55]

① 与那国

② 読谷

③ 宮古

④ 喜如嘉

15 (1) 次の各文は、金属加工について述べたものである。その性質に当てはまる最も適当なものを下から選び、番号で答えなさい。

[56]

① 熱を加えれば溶け、冷えれば固まる。

[57]

② 金属板を打ち起こしながら器物などを成形する。叩けば延びて広がり、粘りがある。

[58]

③ 日本刀に代表される鉄を打ち延べる加工や熱処理で硬くも軟らかくもできる。

[59]

④ 金属の表面に様々な技法を用いて加飾する技法。

① 鍛金

② 彫金

③ 鍛造

④ 鑄金

(2) 次の文の、 に当てはまる最も適当なもの組み合わせを選びなさい。

金属材料は、加熱変態点以上になると A し、展性、延性が増し塑性変形が容易になる性質がある。金属材料は、常温で変形されると B する。

[60]

① A 硬化 - B 軟化

② A 軟化 - B 硬化

③ A 軟化 - B 軟化

④ A 硬化 - B 軟化